

魅力ある授業のために（単元化例） 古典探究 読むこと

1 単元の目標

- (1) 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕 (2)エ
- (2) 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。〔思考力、判断力、表現力〕 A(1)キ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	古典探究	学年類型	3年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	俳諧の滑稽を理解し、自分のものの見方、考え方を深めよう （『鶉衣』）					書くこと	
						読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。		「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。		俳諧の連歌を作成する活動を通して、進んで付け句の作成に取り組んだり、よりよくするために自らの学習を調整しようとしていたりしている。			
主たる言語活動							
俳諧の滑稽を意識して俳諧の連歌を実践する活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	<p>「奈良団賛」について、解釈する。</p> <p>①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>②「奈良団賛」を二人ペアで交互に音読し、俳文のリズムに親しむ。</p> <p>③各自7分間で全文をざっと現代語訳し、ペアで共有する。</p> <p>④グループで修辞技法と典故について役割分担をし、同じ担当同士が集まり、協働的に調べ学習を行う（ジグソー法エキスパート活動）。</p> <p>⑤元のグループに戻り、調べた内容を合わせながら、現代語訳に補足していく。</p> <p>⑥「扇」と比べて、作者は「団扇」のどのような点をたたえているのか、まとめる。</p>	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察（音読） ・行動の確認（ペアワーク） ・記述の分析（ワークシート） 		
2	<p>「歎老辞」について、解釈する。</p> <p>⑦「歎老辞」を二人ペアで交互に音読し、俳文のリズムに親しむ。</p> <p>⑧各自10分間で全文をざっと現代語訳し、ペアで共有する。</p> <p>⑨グループで人名や固有名詞などに着目して典故を探し、本文にどのように利用されているか考える。</p> <p>⑩芭蕉、西鶴、藤原為頼、藤原興風などの先人とその詞が作者の心境とどのように関わっているか話し合う。</p>		◎	◎			

	①二つの作品を通して、俳文のもつおもしろみについて、ワークシートにまとめる。				・記述の分析 (ワークシート)
3	二つの作品を参考に、俳諧の滑稽を踏まえた俳諧の連歌を实践する。 ②俳諧の歴史の中での位置付けを確認し、横井也右の生きた俳諧の世界を確認する。 ③俳諧の連歌で付句の实践を行い、俳諧について理解を深める。 ④振り返りを行う。			◎	・記述の分析 (振り返り)
定期考査				◎	

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	俳諧はさまざまな古典の作品や文章などを典故としながら、滑稽さを併せもつ文学であることやその文学史的価値を十分に理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	俳諧はさまざまな古典の作品や文章などを典故としながら、滑稽さを併せもつ文学であることを理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	俳諧の滑稽さについて理解している。